

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ふくら翼・渚（ふくらトータルケアつくば）				公表日	2026年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	子ども一人ひとりに目が届きやすく安心して活動できるスペースを確保し、利用人数に応じて部屋を使い分けするなど十分なスペースを確保出来ている。	日によって利用状況は変わるが、スペース確保が適切に行えるよう都度話し合っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	利用者様の人数によって職員配置が配慮され、利用人数が多い日には人員を多く配置するなど適切に出来ている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	床暖房もあり、のんびり過ごせる環境である。空間セラピーを意識した環境設定を行うようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	日々環境整備に努め、チェックリストを用いて清掃を行い常に清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	児童の特性や体調に配慮して場所の設置や移動を行って、必要時使えるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	事業所ミーティングなどで全職員が意見し、情報共有の場を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ご家族様等の意向を把握する機会を設けており、いただいた意見を職員間で共有し、業務改善につなげている。内容はLINEworksのノートなどを活用し共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	事業所ミーティングなどで全職員が意見する場を設けており、業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	定期的に外部の先生に意見を聞き、療育活動に反映している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	月に1度、勉強会を実施し、知識の向上や業務改善に繋げている。入職時期に応じた研修プログラムがあるため適宜研修などを受けることが出来ている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	日々の活動の中で評価し、課題をアセスメントして、支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	他職種で意見を出し合い支援計画を立てている。利用者様の情報は、その都度共有し、療育内容の検討を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	作成した支援計画は利用者のファイルに挟み込み、それぞれ職員が一人ひとりの支援計画をいつでも確認できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	行動観察を行い、都度職員同士でアセスメントする事が出来ている。	日々の行動観察による評価は行っているが、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントの活用や結果の共有が十分ではないため、評価の方法を整理し、職員間で共通理解を図れるよう工夫していきたい。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	ガイドラインに沿った支援計画を立案する事が出来ている。	支援計画にガイドラインの視点は取り入れているものの、現場での具体的な関わりがイメージしにくい部分があるため、職員間で話し合っってより具体的に支援内容を設定していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	チームで相談しながら活動プログラムを立案できている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	楽しく参加できるよう、様々な活動を取り入れている。 季節ごとのイベントやお出かけイベントを計画し工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	こどもの体調や発達段階、参加のしやすさに応じて無理のない形で支援が行われている。個別活動、集団活動を満遍なく行う事ができている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝の会の時にその日の活動内容を職員へ伝達し皆で準備実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	活動担当を中心に意見を出し合っている。	業務時間内に振り返りの時間が設けられない時があるが、時間を見つけて振り返りができるようにしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	振り返りが出来るよう活動内容を記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に1度モニタリングを行い、アセスメントを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	副主任やリーダー、看護師等、その都度適切なスタッフが会議に同席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	適宜連絡を取り合い情報共有する事ができている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	新たに保育園利用する児の今までの支援内容などを保育園へ情報共有し、児や保護者が安心して移行できるように努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	関係者へ電話やFAXを用いて支援内容を共有することが出来ている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	他事業所の看護師が来訪し、ケア内容の共有をしたりしている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		これから交流会などイベントを計画し交流できるようにしていきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時などで保護者と日々話をする機会を設けている。 連絡帳や送迎時にて情報共有している		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	市町村から発行されるチラシや他事業で行われているイベントなどをお知らせしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	適宜変更などがあれば案内を出して説明させていただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6ヶ月毎にモニタリングを行い話を聞く機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	作成した支援計画案の内容を配布、説明したのち同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時などにお話を聞き必要であれば話を持ち帰り、職員同士で意見を出し合い助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	夏祭りやクリスマスなどのイベントを通じて保護者同士、きょうだい同士の交流の場を設ける事が出来た	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	その都度相談に応じ対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	利用中の子どもたちの姿を保護者にみてもらえるように、Instagramやふくら写真館などで日々の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約時に説明させていただいている、個人情報使用同意書をもとに、適切に管理し個人情報保護に務めている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子供の反応や仕草などで意思の疎通をはかっている。 ご家族様とは、その都度メールや連絡帳、送迎時に児童の体調や様子を伝えている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	去年の夏祭り地域の方も参加して頂き交流を深める事が出来た。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	適宜避難訓練などを利用者と共にやっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月訓練内容を変えて行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認、また毎日の連絡帳と服薬チェックにて確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	指示書の通りに対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	その都度確認し情報共有している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	同じことが起きないように、速やかに報告書を提出し、内容を職員で共有し話し合いや業務改善に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	研修を受け、業務に生かしている。 zoomなどで研修に参加し適切な対応をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	必ず利用者様やご家族に了解を経て、やむを得ず身体拘束を行った場合には記録を残している。	